



ぜっぱり草津がいい

草津市って こんなまち

日本最大の湖、琵琶湖に面する草津市は、滋賀県の南部に位置し、南北約 13.2km、東西約 10.9km とやや南北に広がった地域からなります。

かつては、東海道五十三次のうち、江戸から数えて五十二番目の、東海道と中山道が分岐・合流する宿場町として栄え、市内には、国指定史跡草津宿本陣など多くの歴史遺産があります。

現在も、京阪神大都市圏近郊という恵まれた立地条件に加え、大学や各種産業の集積によって若い活力に満ちたまちとして発展しています。



にぎわいのまち

本市の中心市街地は、JR 草津駅と JR 南草津駅の両駅を中心に形成しており、京都・大阪へのアクセスが便利です。

大型商業施設や子どもがのびのびと遊べる公園、立命館大学びわこ・くさつキャンパスもあり、ファミリー世帯や学生の転入も多く、若い力があふれた、にぎわいと活力に満ちたまちです。

景観豊かなまち

滋賀県内でも比較的温暖な気候に恵まれている草津市。琵琶湖の湖辺一帯にはのどかな田園風景が広がり、この風景と琵琶湖の対岸に望む比良・比叡の山並みが調和し、四季折々の美しい景観を楽しむことができます。



街道文化のまち

縄文・弥生時代の遺跡をはじめ、南笠古墳群や史跡野路小野山製鉄遺跡などが示すように、草津の地には、太古からの人の営みの歴史があります。

古代官道が走るなど古くからの交通の要衝でもあり、江戸時代になると、東海道と中山道が分岐・合流する地として草津宿が発展しました。多くの大名や姫君が泊まった草津宿本陣は、往時の姿を現代に伝えて国指定の史跡となっています。

さらに、琵琶湖の湖上交通の要衝となっており、豊臣秀吉ら歴代の天下人のもと、芦浦観音寺が湖上の船を掌握するなどの重要な役割を担い、発達した舟運に矢橋や山田、志那の湊などが活気を見せていたといいます。

このような古くからの陸上、湖上の交通の要衝としての歴史がある本市には、多くの人やものが行き交い出会う中で育まれた街道文化が息づいています。



市の木

キンモクセイ



葉は細長いだ円で硬く、早秋には強い芳香を放つ橙色の小さな花をたくさん咲かせます。排気ガスなどの公害に敏感で、病虫に強く、高木にならないことから、家庭での緑化に適しています。

(昭和 56 年 1 月 1 日制定)

市の花

アオバナ

正式名を「大帽子花」といい、つゆ草の変種です。つゆ草より全体に大きく、毎年7・8月の暑い盛りに青色の花を咲かせます。

古くから草津で栽培され、花卉に含まれる青色色素から作る青花紙は、友禅染や絞染などの下絵書きに利用されています。

(昭和 56 年 1 月 1 日制定)



市章

市制施行の昭和 29 年 10 月 15 日に制定しました。「く、さ、つ」を図案化したもので、線の太いものは市勢の力強さを示し、全体を横にすれば本市が日本の中央に位置するということを表しています。



市民憲章

私たち草津市民は

- 一. 古い歴史にとけあつた新しい文化をつくり、住みよいまちをきざぐためにあたたかい心を持ちあつて、ともにあすへの歩みを進めましょう。
- 一. 豊かな生産に努めましょう。
- 一. 高い教養を伸ばしましょう。
- 一. 明るい環境を整えましょう。
- 一. 良い風習を育てましょう。

(昭和 42 年 5 月 3 日制定)

pickup



水生植物公園みずの森

史跡草津宿本陣



草津川跡地公園
〔区間5〕
de 愛ひろば



琵琶湖



草津川跡地公園
〔区間2〕
ai 彩ひろば



草津市ホームページ
<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/>



ふるさと
納税

草津市公認マスコット
キャラクター
たび丸

